

# 吹風に秋を感じて

# てんこ糺



八月も半ばを過ぎると吹く風の匂いが変わってきました。草刈りで木蔭が休憩すれば心地良い風が吹きはじめました。スキの穂が波立つ美しい景色が目前に広がり、ベニバナホログワの白い実がふりふりと舞いはじめたりと、秋を感じることが多くあります。自立つのは、夕方の木の白い花やクサ木の花、山ではツリガネニシシや山ろもき、シモツケソウ

は、何時のよい日も多くあります。年に毎日雨が降ります。時局的には短時間ですが、油断していると梅地的な大雨にあつたりの日々。それでは任んで、自分にとつては、ひかひか満足する天候はそうあると任ずればよいように。合えば、暑いのうや、の言葉がまずえに出るようです。

先日、ニホンカワウソウが絶滅したとニュース。ニラスになる様は種なら、人々の意識が変化するのかわり知れませんが、どれだけの種が人による地球から失われつつあるのかは知りませんけれど、このうに人か、ほとんど見かけさせんけれど、ニラスにはやはりません。少ないとばいば、多くの人が訪れ、数年すれば、矢のりていくという現実でも誰も文句を言いません。立入禁止の文句は、言うく、強行に出る、看板を破壊はするの、かまされど、

12月 No.18  
発行 市岡 融  
発行所 0883-88-529  
かほに取山・ミコ  
街中ではミヤタをこえ、残暑が厳しいよつづすが、祖谷



# とらふんばい

西山、終令集落を望む



# 祖谷そば

祖谷そばは名物の食材ですが、祖谷地区で生産し、一年間食材として十分かといえは、これも絶滅に近い現実です。三好市内で生産されるそばが全部祖谷そばというブランドにしても果して十分かのどううか。そんな時、三好市池田町の人たちが「祖谷そば」を耕作しようとして立ち上ったと、ニラスが、ありました。ピエラの花のそばと共に特産にしようという内容だったとおもいます。まあ、祖谷のそばさんどうしてですか、他カ本頼ですが、ピエラの花のそばが近くにあれば、必ず文配の心配が出来ますが、ついでとこの「祖谷そば」はどうすればいいか、どううか、ネー。